

0歳児

0歳児

行事	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会 避難訓練 	クニフスのようす	<ul style="list-style-type: none"> からだをたっぷり使ってあそんだプールの時期を超え、安定したおとなとの関係性のなかで、好きなあそびをじっくりあそび込んでいる。 	(養護・ねらい教育)	<ul style="list-style-type: none"> 食事・睡眠など生活リズムを整え、心地よく過ごす。 秋の自然にふれ、探索活動を楽しむ。
----	---	----------	--	------------	---

安全・健康への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 個々の食べるようすに応じて声をかけ、楽しい雰囲気なかで意欲的に食べられるようにしていく。 残暑が厳しいので、気温・室温などに気をつけ、水分補給をしっかりと行う。また、必要に応じて沐浴やシャワーなどを行い、快適に過ごせるようにする。 戶外あそびでは、遊具が熱くなりすぎているか、あそぶ場所の安全や衛生の確認をしておく。 	職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの24時間の生活をとらえ、1回寝に移行していく際は、個々のようすを共有しながらゆっくりと進めていく。 園庭では、砂あそびや探索など、子ども一人ひとりの興味に合わせてあそびを楽しめるように共通認識をする。
-----------	--	--------	--

育てたい内容と保育者のかかわり


- しっかりと離乳食を食べ、安心して入眠し、気持ちよく目覚める。
△一人ひとりの生活リズムを整え、気持ちよく入眠できるように特定の保育者がゆったりとかかわり、ゆとりをもって生活の流れをつくっていく。
- 安心して保育者に見守られながら、人や物への興味・関心をもつ。
△友だちなど自分のまわりにも目がいき、友だちや保育者のしていることに興味を示したり自らもやってみたり育めたりするように、その目線の先に気づいてことばや目線をそえるなど、応答的に対応していく。

育てたい内容 △保育者のかかわり

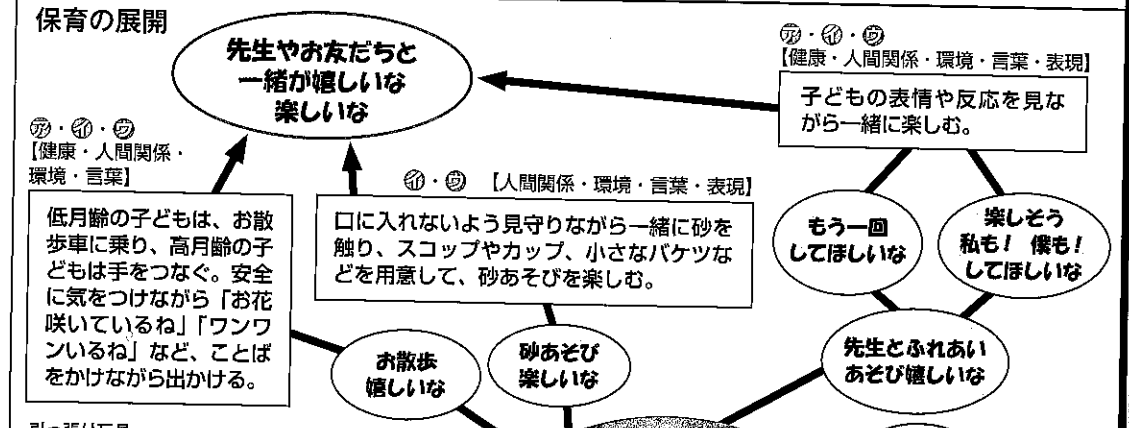
1週 2週 3・4週 5週

園庭での砂あそび・探索あそびを楽しむ

散歩に出かけ、秋の自然にふれる



わらべうた「おすわりやすすどっせ」
(2次元コードから動画をご覧いただけます)



	子どもの姿 (前月末)	子どもの育ち (ねらい・内容)	保育者のかかわり (環境・かかわり・配慮)	反省・評価
A児 (9か月)	<ul style="list-style-type: none"> 保育者のひざの上でD児と向かい合い、歌いながらからだを揺らしてもらうと、D児と顔を見合わせ、ニコニコと笑う。 座って箱から布やボールなどを取り出したり、腹ばいで玩具を取りに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 他児と目を合わせ気持ちを通わせたり、他児の動作に興味をもち、やってみようとする。 入れ物や箱に入っている物を出す、入れる、引っ張るなど、繰り返し手や指を使ってあそぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が一緒にふれあいあそびをしたり、少人数で他児の姿が見えやすい環境で過ごすなどして、他児と過ごすことが楽しいと思えるようにする。 箱から出してあそぶことを楽しめる玩具を用意して、保育者も一緒に出し入れをし、ほほ笑みや表情で楽しさを表現したときは「楽しいね」とこたえて、繰り返し楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 他児とかかわることが楽しいと思えるようなあそびをするを意識した。他児がスベリ台に上っていることに気づくと、斜面に手を置いて他児を見上げて、上ろうと足を動かしていた。来月も主体的に他児と楽しめるようなあそびを意識して、かかわっていききたい。
B児 (1歳1か月)	<ul style="list-style-type: none"> 子守歌や絵本の読み聞かせのことばに重ねて「あー」「んー」という。 運動会の練習の音楽が流れてくると、笑顔で手をたたいたり、からだを前後左右に揺らしたり、ひざを曲げたり伸ばしたりして、リズムをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本に興味をもち、繰り返しのことばや保育者のことばをまねするなど、やりとりを楽しむ。 音楽に合わせて、からだを動かしたりマラカスや鈴などを振ったりして、リズムあそびを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ことばのやりとりのある絵本やリズム感のよい絵本を用意し、B児の表情を見ながらゆっくりとていねいに語りかけて、ことばのやりとりを楽しめるようにする。 持ちやすい楽器を用意し、自由にリズムをとったり鳴らしたり、関心がもてるようにする。保育者も一緒に鳴らすことで、楽しさを共有していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 気に入った絵本を毎日繰り返し読むなかで、「(ありが)と」「(おい)しー」などと語尾と一緒に発したり、身振りや表現することを喜ぶ姿が見られるようになった。今後も応答的なやりとりを大切に、やりとりを楽しむ気持ちを育み、主体的な発語につなげていきたい。
C児 (1歳4か月)	<ul style="list-style-type: none"> 砂あそび用の小さいバケツを「いっぱい入れる」と保育者にさし出して、砂を少し入れてもらい、自分でも入れようとする。 保育者が玩具を片づけ始めると、まわりにある玩具を次々と玩具箱に入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の応答的なかかわりや話しかけにより、自らの思いを「ちょうだい」「いや」などのことばや動作で伝えようとする。 片づけてから〇〇をする、という期待をもって、保育者と一緒に玩具等の片づけを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 応答的なあそびと一緒に楽しむ「やって」という思いや「嬉しい」という思いに共感し、ことばで伝える楽しさを感じられるようにする。 片づける姿が見られたときには、「片づけたね」「次は何しようか」など、達成感や次への期待をもてるように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が思いを受けとめ、ゆっくりとことばで話すように心がけてきた。他児に対して、ことばで話したり生活のさまざまな場面でもことばで伝えようとする姿が見られるようになってきたので、これからも応答的にかかわり、ことばで伝えたいと思えるようにしていきたい。

家庭・子育て支援の連携

- 成長過程をお便りで知らせながら、発達に応じた玩具や、子どもたちが興味をもっている玩具・絵本などを紹介し、家庭と共有できるようにする。
- 家庭で日常生活を過ごすなかで出てくる保護者の悩みをキャッチし、「保護者交流ボード」(悩み等をボードに貼りつけ、自由に意見を書いてもらう)を通して悩みを共有したり、保護者の工夫についても伝え合い、保護者同士のつながりをつくっていく。

ふりかえり

- 9月とはいえまだ暑い日が続いたので、睡眠・食事、子どもの体調・機嫌などをていねいに見てきた。涼しい時間帯に戸外に出かけたり、沐浴やシャワーを行い、快適に過ごせるようにした。
- 毎日少人数でゆったりと生活を送るなかで、お友だちがしているあそびに少し興味をもち、やってみようとしてきた。まねをする姿も出てきている。同じようにしてみたいという子どもの姿から、楽しい空間を共有できるようにしてきた。引き続き、子どもたちの友だちに向かう興味の方をキャッチし、お互いの気持ちが少しずつ通じ合うようなあそび等をしていきたい。

3つの視点

- ① 健やかに伸び伸びと育つ
- ② 身近な人と気持ちが通じ合う
- ③ 身近なものに関わり感性が育つ

5領域

- 【健康】
- 【人間関係】
- 【環境】
- 【言葉】
- 【表現】

子どもの姿 1週め記入

保育者のかかわり 1週め記入

子どもの姿 4週め追記